

職業リハ学会通信

NO.142 2015年 6月発行

学会大会

ただいま事前申し込み受け付け中

2015年8月22日(土)・23日(日)、大妻女子
大学千代田キャンパスで開催します

『今一度、職業リハビリテーションの方法と技術を考える』

事前申し込みはお済みですか? 「職リハ学会第43回東京大会」(8月22日(土)・23日(日)、大妻女子大学千代田キャンパス)の開催が近づいて参りました。初日の幕開けは厚生労働省事務次官の村木厚子氏による基調講演「社会の中で働くことをあきらめない」。そして5本の教育ワークショップ(①ジョブコーチ、②就労移行支援、③医療と職リハ、④生活支援とソーシャルワーク、⑤労務管理の基礎)、及び学会主催ワークショップ「雇用の場における障害者の権利擁護」が続きます。懇親会は学内ホールで開催しますので何人お集まり頂いても大丈夫です。多数のご参加をお待ちしています。2日目の午前中は研究発表。口頭48題、ポスター16題と充実した数の発表が予定されています。そして締めくくりは午後のシンポジウム「職業リハビリテーションの方法と技術—現場の専門性を高め、維持する方策を考える—」。皆様と一緒に現場の専門性を高める方策について議論していきたいと思えます。

大妻女子大の千代田キャンパスは、桜で有名な皇居千鳥ヶ淵にも徒歩5分。東京のどこへ行くにもアクセス抜群です。外国人観光客の増加で、東京はホテルの予約が取り難くなっております。学会のお申し込みと共にホテルのお申し込みも早目に済まされることをお勧めします。

「社会の中で働くことをあきらめない」

基調講演：村木厚子氏
(厚生労働省事務次官)



6月1日から大会専用ホームページから事前参加申し込みが可能となっています。近隣のホテルもご案内していますので、どうぞご利用ください。それでは8月22日に大妻千代田校舎でお会いできることを楽しみにしています。

小川浩(第43回東京大会大会長・大妻女子大学)